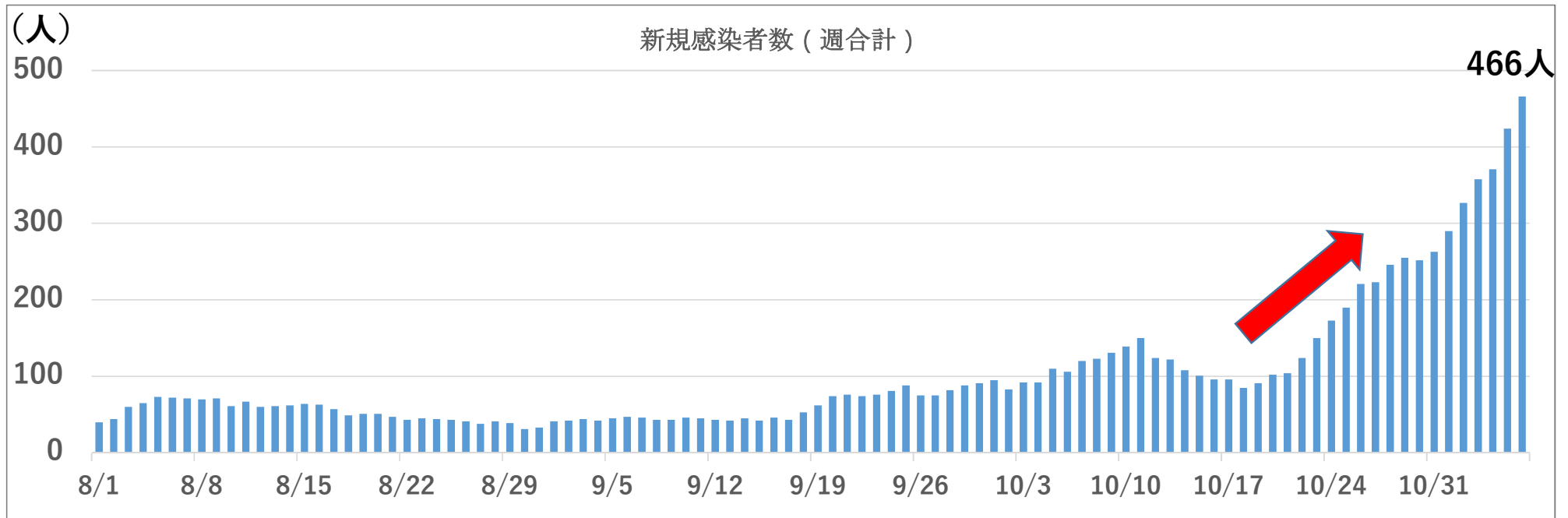


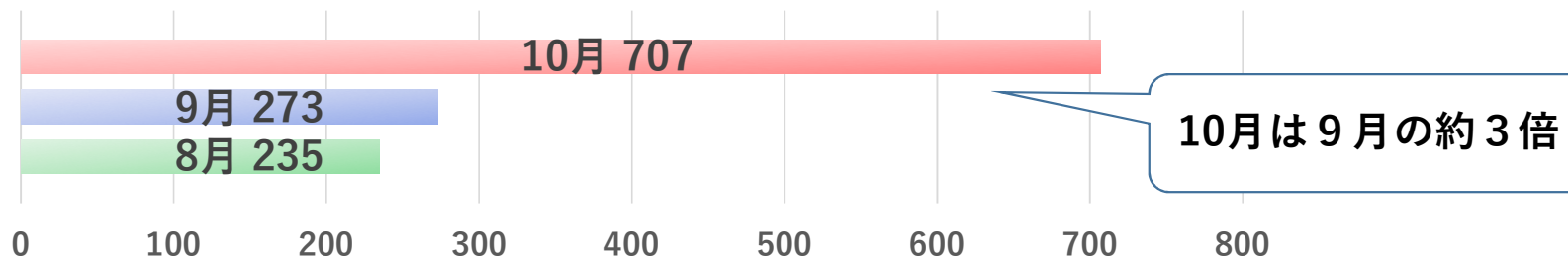
すすきの地区の感染状況について

札幌市保健所

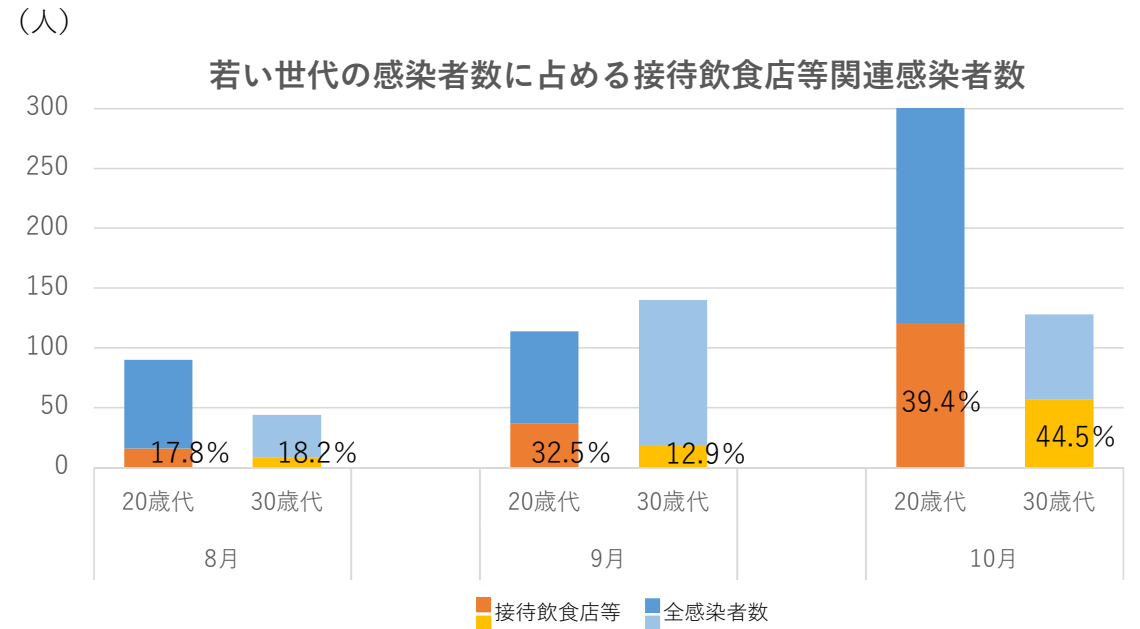
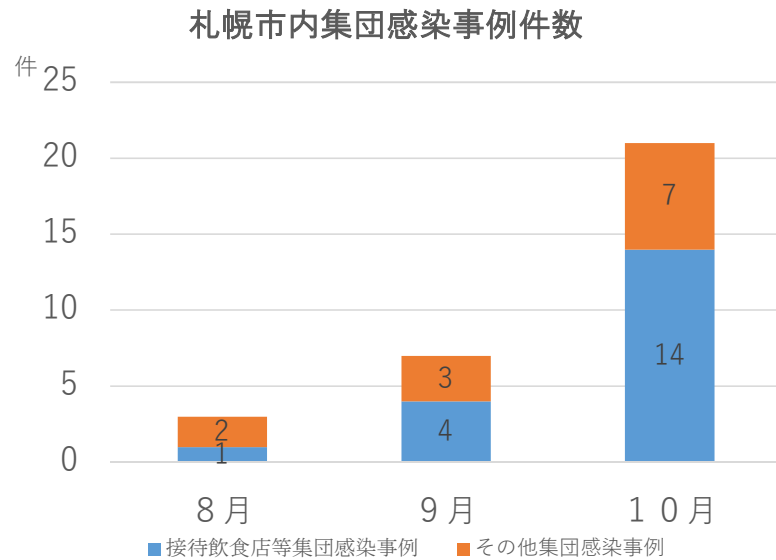
札幌市内新規感染者数の推移



■ 月別感染者数



札幌市内の感染状況

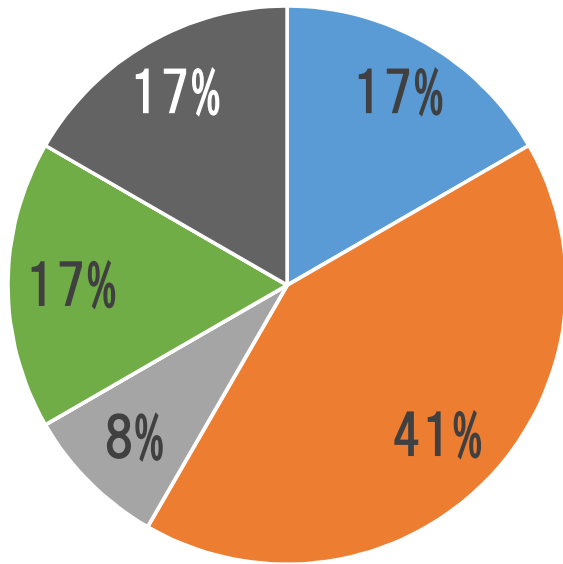


◆ すすきの地区における接待を伴う飲食店などの集団感染事例が増加

◆ 10月に入り、若い世代の感染者数のうち、接待飲食店等関連の感染者数が増加。30代は約45%が関連している

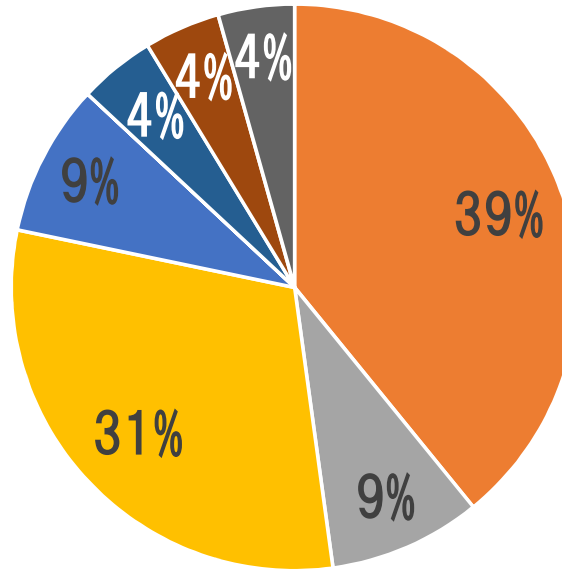
すすきの地区の接待等飲食店 発生店舗内訳

8月



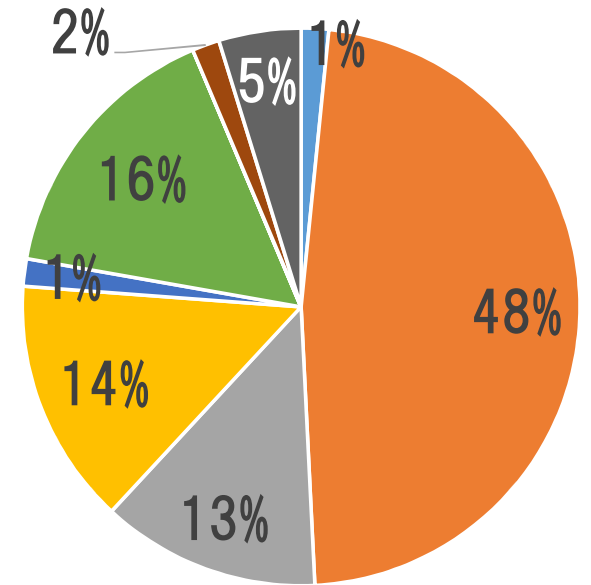
陽性者が発生した店舗は、主に女性従業員と男性利用客との「会話」をサービスとする業態が多い

9月

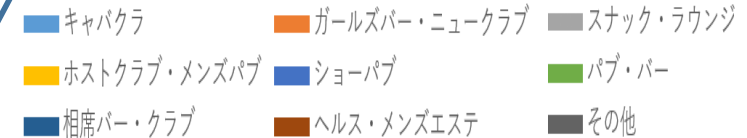


男性従業員と女性利用客との「会話」をサービスとする業態の感染例が増加。すすきの地区で働く女性従業員も多く利用

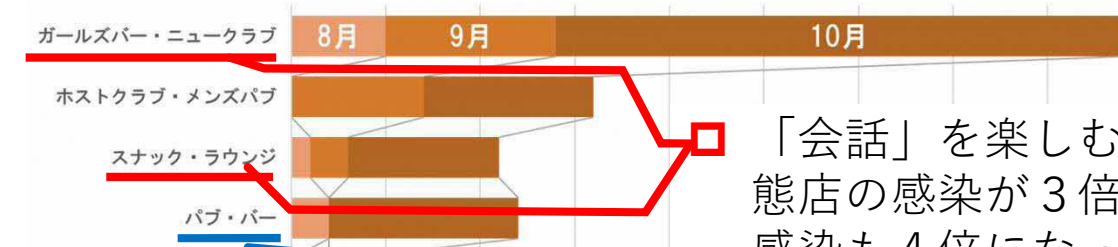
10月



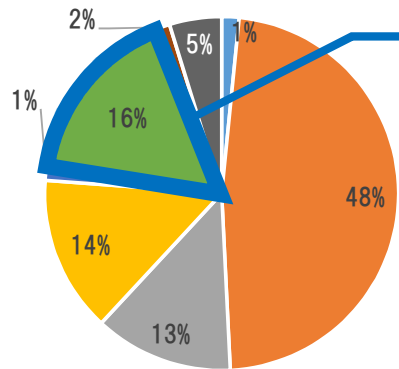
性別問わず会話を楽しむ業態も増加し、様々な業態に広がる



すすきの地区における感染傾向①



「会話」を楽しむ店舗のうち、主に若い男性を対象とした業態店の感染が3倍に、主に中高年男性を対象とした業態店の感染も4倍になった



性別を問わず、飲食店従業員以外のお客も利用するようなパブ・バーでの感染事例も増え、様々な業態に感染が広がっていった

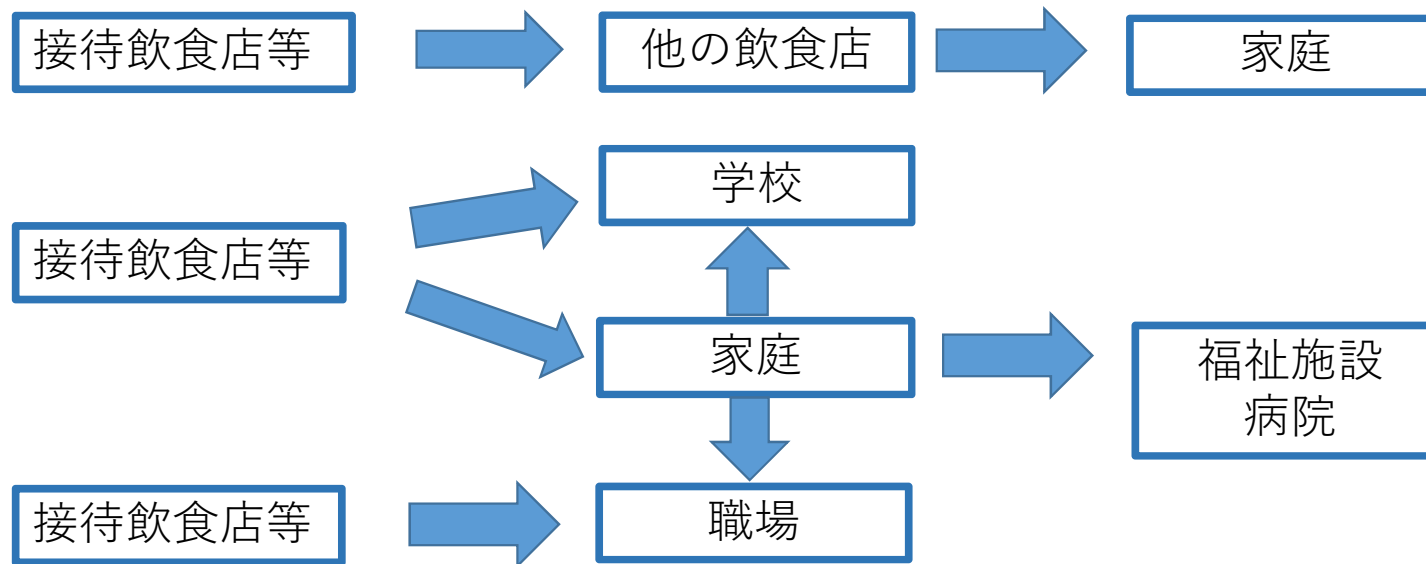
- 陽性者の中には、すすきの地区の酒類提供を行う料理店等（居酒屋等）を利用した例も確認されている
 - これらの店舗は複数で利用し、お酒が進むと大きな声になりやすく、感染防止意識も低下



すすきのエリアの様々な業態の飲食店に感染が広がる恐れ

すすきの地区における感染傾向②

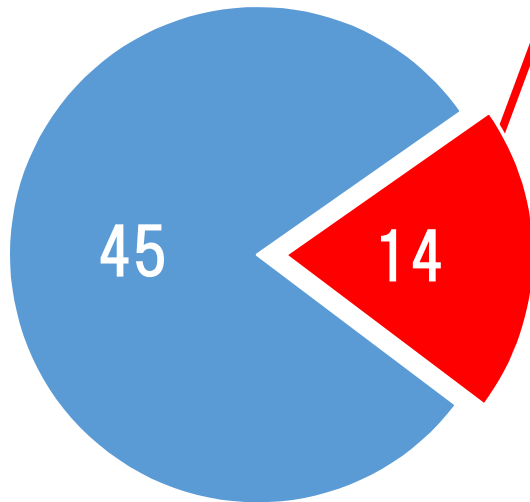
接待を伴う飲食店等から、
他の世代や集団へ感染拡大につながる事例も



福祉施設や病院などに伝播することで、重症化しやすい方々に感染が広がる恐れ

すすきの地区における感染傾向③

- 10月に発生した陽性者が関連した飲食店のうち、**23% が**
集団感染事例となっている



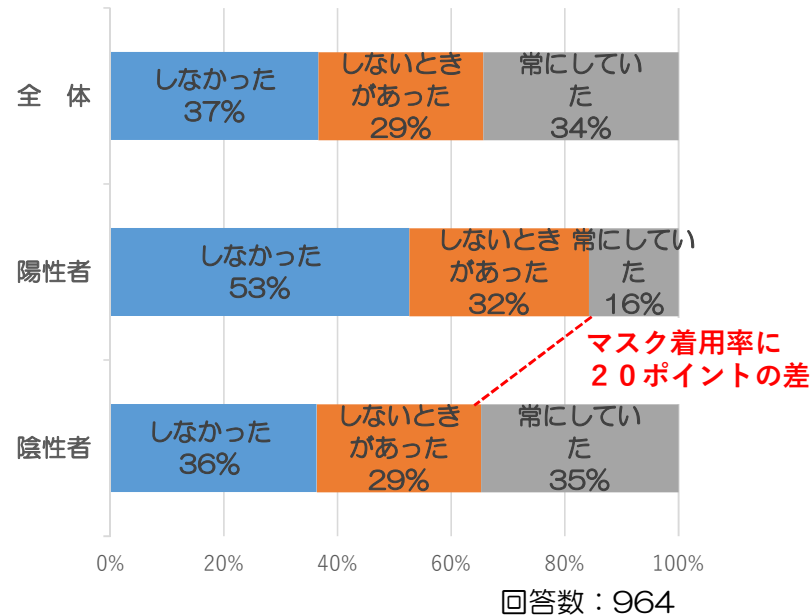
- 集団感染事例となった店舗の多くが、朝方まで営業している形態と思われる

新型コロナウイルス感染症対策分科会から政府への提言 (10月23日)

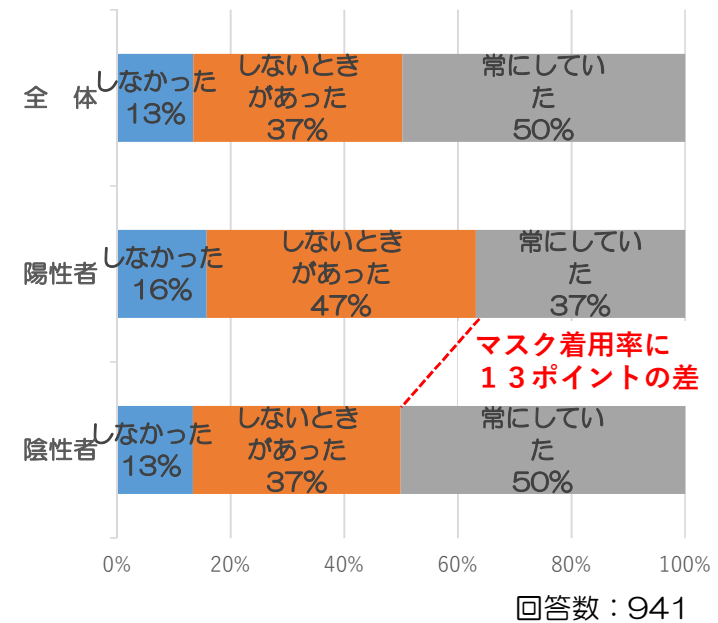
感染リスクが高まる場面として、「長時間に及ぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて感染リスクが高まる」とあげられている。

アンケート調査による感染予防策の実態（マスクの着用）

マスク着用（接客中）

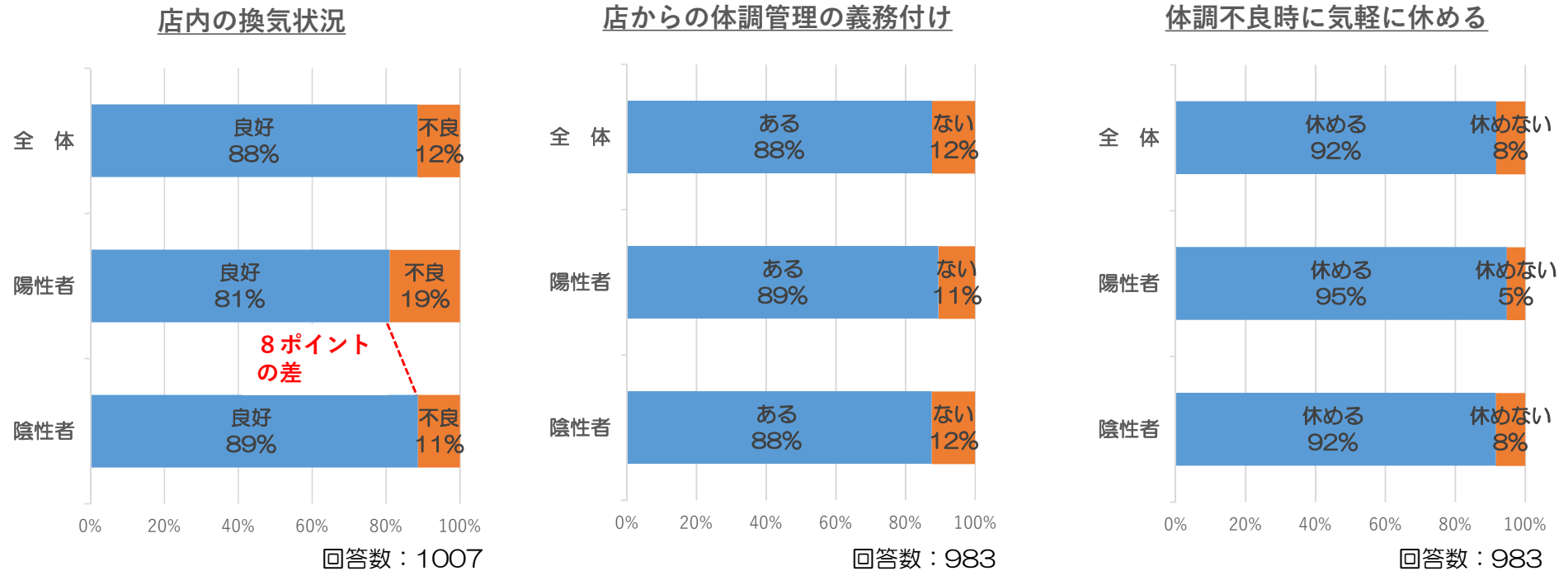


マスク着用（更衣室・控室）



- ◆ 陽性者は、陰性者よりもマスク着用率が低い
- ◆ 接客中は、更衣室・控室よりもマスク着用率が低い

アンケート調査による感染予防策の実態（換気・体調管理）



- ◆ 陽性者は、陰性者と比べて、店内の換気が不良の割合が高い
- ◆ 多くの店で体調管理を義務付けている
- ◆ 体調不良時には多くの方が気軽に休める環境にある